

市内のできごとを写真入りでお知らせします

# まちのできごと

## 地元我孫子市に福祉機器を寄贈 NECグリーンロケッツ (ラグビーフットボール部)

1月22日、NECグリーンロケッツのチームディレクター橋本さんが市役所を訪れ、骨盤補整座いす、コンパクト玄関いすなど3点の福祉機器を送りました。



これは、同チームが昨年12月に行ったチャリティーオークションの売り上げで購入したもので、贈られた福祉機器は、市内の福祉施設で活用されます。

寄贈式で橋本さんは「地域への恩返しとしてオークションを開催しました。ぜひ、多くの方々に福祉機器を活用してほしい」と語っていました。

## 冬空の下で健脚競う

### 新春マラソン大会に約 1500 人が参加



新春マラソン大会が、1月27日に湖北台中学校周辺で開催されました。

快晴で絶好の競技日和のなか、市内外から約1500人が1.5kmから10kmまでの31部門で健脚を競いました。中学生などのレースには、1月の箱根駅伝で総合3位になった中央学院大学陸上部の選手も招待選手として参加し、大会に

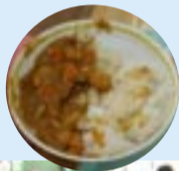
華を添えました。また、開会式では、中央学院大学陸上部と区間新記録で区間賞を獲得した篠藤選手に、我孫子市教育委員会からスポーツ功労賞が贈呈されました。

大会の結果は、ランネット <http://www.runnet.jp/top/> に掲載されています。

## 給食に白樺派カレー登場

### 1月24日 我孫子第四小学校で

1月24日、「白樺派のカレー」が給食に登場しました。このカレーは「我孫子に文学カレーをつくる会」が、郷土史家や市民などと研究を続け再現したもので、隠し味にみそが入っているのが特徴です。



我孫子第四小学校では、昨年12月に同カレーの普及会による説明会や試作会を行い、今回の給食メニューとなりました。



白樺派のカレーを食べた子どもたちは、「うまい、うまい」とおかわりをし、あっという間にカレー鍋は空になっていました。

## 遊ぼうおもいっきり手賀沼で!

### 親子釣り大会

クリーン手賀沼推進協議会では、「遊ぼうおもいっきり手賀沼で!」をテーマに、親子釣り大会を開催します。

日時・集合場所 3月29日(土)午前7時、我孫子手賀沼漁業協同組合棧橋前に集合、午前11時30分散散予定(小雨実施)

内容 我孫子手賀沼漁業協同組合棧橋での釣り

対象・定員 市内在住の親子20組(40人)

※お父さんは小学生以上。

※応募者多数の場合は抽選。

参加費 500円(入漁料、保険料含む)

※釣りは貸し出し(持参不可)。

申し込み 往復ハガキに「手賀沼親子釣り大会」、

住所、親子の氏名、電話番号、返信あて先(裏面は未記入)を明記し、3月3日必着で〒270-1192市役所手賀沼課(クリーン手賀沼推進協議会事務局)〈住所省略課〉へ郵送  
 手賀沼課・内線467



▲我孫子手賀沼漁業協同組合棧橋

## “社会を明るくする運動”作文コンテストで県知事賞

### 白田愛さん(白山中) 須山喜明さん(並木小)

第57回“社会を明るくする運動”千葉県作文コンテストで、白山中学校3年生の白田愛さんの「人の為は自分の為」と並木小学校1年生の須山喜明さんの「おおきなこえであいさつしたいな」の作品が、昨年12月1日に「千葉県実施委員会委員長賞(県知事賞)」を受賞しました。

この作文コンテストは、小・中学生の日常の家庭生活、学校生活のなかで、犯罪や非行などについて感じたことを書くもので、中学生の部は3400人、小学生の部は2500を超える応募作品の中から選ばれました。

生活支援課・内線377



◀白田愛さん  
(白山中学校)

まさか、この様な賞を受賞できるとは思いませんでしたので

驚きましたが、とても光栄に思います。これから、この賞を励みにして、私自身も明るく生活して行きたいと思っています。



◀須山喜明さん  
(並木小学校)

がんばってかいたぼくのさく文がしょうにえられて、とて

うれしいです。ぼくはまいにち、大きなこえであいさつできるようにがんばっています。

## あびこ植物図鑑

文・写真 佐久間俊行

No.246

### ホテイチク

(布袋竹)

いね科



▲志賀直哉邸跡で撮影

一月の下旬に緑地区の志賀直哉邸跡を訪れると、西側の敷に瘤状の節を持ったホテイチクがありました。

この竹は中国原産で、福島県以南で栽培され、暖地では野生化している所もあります。大きいものでは茎(稈)の

長さが十メートル、直径が四センチにもなります。節には二重の輪があり、下部の節の間隔は極端に短かったり、斜めだったり、膨れたりしています。布袋竹の名は、膨れた節間の形を布袋様の腹にたとえた名です。この異形な節ができるのは、乾燥すると丈夫になることから、釣竿や杖として使用するほか、竹筆、箸置、竹笛などに利用します。

## 俳句

卓選 染谷島崎 妙子選 (青少年の部)

【評】お月さまも一緒にブランコにのっているようです。楽しい俳句一杯作ってね。

母逝けり当てなき毛糸編みつく 渋谷 多佳子  
 【評】もう着せてあげられない編み物。母への尽きぬ思いのみで編んでいるのだ。  
 水仙や海に一朵の雲かゝる 吉田 冬径  
 枯苔に沼の夕日のやはらかし 今井 岩夫  
 冬将軍地鳴り海鳴りつれて来る 松村 君代  
 神苑の風に賑はふ受験絵馬 川上 進也  
 袖口の紅絹の華やき初点前 青山 陽子  
 枯蔓に縋る朱の実の空に浮く 渡辺 詔子  
 青少年の部(18歳以下) 五十嵐 結愛(3歳)

短歌・俳句の18歳以下(小・中学生、高校生ほか)の投稿も大歓迎です!



## 文芸だより

皆さんからの投稿をお待ちしています。締め切りは、毎月20日必着。ハガキで1人1作に限ります。投稿された作品は、選者により添削する場合もありますのでご了承ください。

【評】手賀沼の面は夕焼けを映して輝きそれは少年君の原風景となるのでしょうか。弟の股下抜きて蹴球のドリブル決まりうれしかりけり(新かな 桂 崇人)

【評】お月さまも一緒にブランコにのっているようです。楽しい俳句一杯作ってね。

## 短歌

榊原 敦子 選

かつぶしを削るやうだと言ひし人と同じ思ひでわれも生きをり 木村 梅  
 【評】鱧節はわが身を削って働き遂には消滅する。かの人もそして自分も然りと。  
 寒風に真向ひ少女ただひとり凍る湖面を突つ走り行く 馬場 千鶴子  
 もう少し優しくすれば良かったと妻を亡くせし老友こぼす (新かな) 白杉 政幸  
 「石やうきいも」テープに言はせ表情のとほしきをとこ軽トラに行く 新藤 道子  
 畦道にひなたぼこする竹行李シユシユと汽笛がひびく(新かな) 千葉 フミ  
 コンパスで赤く描いた線ちらす薄切り赤蕪朝のお皿に 渡辺 詔子